



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE  
Group 2724  
Examiner: J. Grant

#3  
KD  
9-29-98

In re Patent Application of

Applicants : Kunio KOTSUKI ET AL.)  
Serial No. : 09/089,162 )  
Filed : June 2, 1998 )  
For : A COMMUNICATING )  
APPARATUS )  
Attorney Docket: ASAMU 3520.01 )

CLAIM FOR  
PRIORITY

98 SEP 25 PM 2:14  
GROUP 2724

RECEIVED

September 24, 1998

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

Submitted herewith are certified copies of Applicants' first filed Japanese Applications No. 09-147504 filed June 5, 1997 and No. 09-150600 filed June 9, 1997, the rights of priority of which have been and are claimed pursuant to the provisions of 35 USC 119.

It is respectfully requested that receipt of these priority documents be acknowledged.

Respectfully submitted,

Robert J. Frank

Robert J. Frank  
(Registration No. 19,112)  
SPENCER & FRANK  
Suite 300 East  
1100 New York Avenue, N.W.  
Washington, D.C. 20005-3955  
Telephone 202-414-4000  
Telefax 202-414-4040

RJF/njp

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

1997年 6月 9日

出願番号  
Application Number:

平成 9年特許願第150600号

出願人  
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

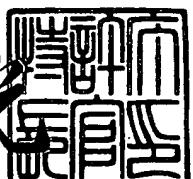
CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

KOTSUKI  
09/089, 162  
6-2-98

1998年 5月 8日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

荒井寿光



出証番号 出証特平10-3035771

【書類名】 特許願  
【整理番号】 2913090467  
【提出日】 平成 9年 6月 9日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 H04M 7/00  
【発明の名称】 データベース端末装置および発信者情報検出装置  
【請求項の数】 2  
【発明者】  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内  
【氏名】 江里 昌広  
【発明者】  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内  
【氏名】 今林 時夫  
【特許出願人】  
【識別番号】 000005821  
【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社  
【代理人】  
【識別番号】 100078204  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 滝本 智之  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100097445  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 岩橋 文雄  
【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 011305  
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9702380

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データベース端末装置および発信者情報検出装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電話回線に接続し、ダイヤル等の回線制御を行う手段と、中央制御部と、発信電話番号通知サービスによって受信者に通知される発信者の電話番号を検知する手段と、パーソナルコンピュータとのシリアル通信を制御する手段を備えた発信者情報検出装置と、前記発信者情報検出装置にシリアルインターフェースで接続されたパーソナルコンピュータで構成され、電話をかけてきた相手の情報を前記発信者情報検出装置より前記パーソナルコンピュータに通知する手段と、前記通知によりパーソナルコンピュータの記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示する手段を有することを特徴とするデータベース端末装置。

【請求項 2】 電話回線に接続し、ダイヤル等の回線制御を行う手段と、中央制御部と、発信電話番号通知サービスによって受信者に通知される発信者の電話番号を検知する手段と、パーソナルコンピュータとのシリアル通信を制御する手段を備えた発信者情報検出装置とを備え、電話をかけてきた相手の情報を前記発信者情報検出装置が検出してパーソナルコンピュータに通知し、パーソナルコンピュータへその記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示させるように指示する手段を有することを特徴とする発信者情報検出装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、発信者情報を検出できる装置および前記装置を備えたデータベース端末装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

最近、公衆電話回線の発信者情報通知サービスを利用して電話をかけてきた相手（発信者）が誰であるのかが分かるようになってきており、発信者電話番号等の情報（コーラーID）を検知できる装置を備えた回線端末装置が普及しつつあ

る。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の発信者情報を検知できる装置を備えた回線端末装置では、電話番号で相手が分かるだけで、その相手と過去にどのような話をしたか詳細な情報までは得ることができないという問題点を有していた。

【0004】

本発明は上記従来の問題を解決し、かかってきた電話相手と通話をする前に、相手の詳細な情報を確認できる発信者情報検出装置およびそれを備えたデータベース端末装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明は、発信電話番号通知サービスによって受信者に通知される発信者情報を検知する手段（以下コーラー I D 検知部という）と、パーソナルコンピュータ（以下 PC という）とのシリアル通信を制御する手段（以下 PC インターフェイスという）を備えた発信者情報検出装置と、この発信者情報検出装置にシリアルインターフェイスで接続された PC で構成され、電話をかけてきた相手の情報を発信者情報検出装置より前記 PC に通知することによって、前記 PC の記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示するデータベース端末装置としたものである。

【0006】

本発明によれば、電話をかけてきた相手の情報を発信者情報検出装置より PC に通知して前記 PC の記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示し、かかってきた電話相手と通話をする前に相手の詳細な情報を確認でき、効果的な通話ができることとなる。

【0007】

【発明の実施の形態】

本発明の請求項 1 に記載の発明は、電話回線に接続し、ダイヤル等の回線制御を行う手段と、中央制御部と、発信者情報を検知する発信者情報検知部と、 PC

とのシリアル通信を制御する PC インターフェイスを備えた発信者情報検出装置と、前記発信者情報検出装置にシリアルインターフェイスで接続された PC で構成され、電話をかけてきた相手の情報を前記発信者情報検出装置より前記 PC に通知する手段と、前記通知により PC の記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示する手段を有するデータベース端末装置としたものであり、かかってきた相手の詳細情報を画面に表示し、相手と通話をする前に相手の詳細な情報を確認できるという作用を有する。

#### 【0008】

本発明の請求項 2 に記載の発明は、電話回線に接続し、ダイヤル等の回線制御を行う手段と、中央制御部と、発信電話番号通知サービスによって受信者に通知される発信者の電話番号を検知する手段と、パーソナルコンピュータとのシリアル通信を制御する手段を備えた発信者情報検出装置とを備え、電話をかけてきた相手の情報を前記発信者情報検出装置が検出してパーソナルコンピュータに通知し、パーソナルコンピュータへその記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示させるように指示する手段を有する発信者情報検出装置であり、かかってきた相手の情報をパーソナルコンピュータに送り、パーソナルコンピュータにおいて詳細情報を通話をする前に確認できるという作用を有する。

#### 【0009】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

##### (実施の形態 1)

図 1 は本発明の実施の形態 1 の発信者情報検出装置を備えたデータベース端末装置の構成を示すブロック図、図 2 は同データベース端末装置の動作を示すフローチャートである。

#### 【0010】

図 1 に示すように本実施の形態 1 のデータベース端末装置は、発信者情報検出装置 3 と PC 8 より構成されている。発信者情報検出装置 3 は、電話回線網 1 および外部電話機 2 が接続される回線制御部 4 と、コーラー ID 検知部 6 と、PC 8 に接続される PC インターフェイス 7 と、これらを制御する中央制御部 5 を備えている。また、PC 8 は、ハードディスク装置 10 を内蔵しており、その情報

はディスプレイによって表示できるようになっている。図中の9a、9bはアプリケーションソフトの表示例である。

#### 【0011】

上記各構成部をもつ本実施の形態1のデータベース端末装置について、以下の動作を図2のフローチャートを用いて説明する。

#### 【0012】

まず、電話回線網1よりベル信号が入力されると、外部電話機2が鳴動する（ステップS1）と同時に、回線制御部4を介してコーラーID検知部6が電話をかけてきた相手の情報（発信者情報）を検知し、中央制御部5に通知する（ステップS2）。通知された相手の電話番号等の情報（発信者情報）は、PCインターフェイス7を通じてPC8にシリアル通信される。発信者情報情報が通知されるとPC8のデータベースアプリケーションソフトウェアが起動し、ハードディスク装置10に記憶されたデータベースより通知された発信者情報に対応する詳細情報を読みだし、その情報を表示例9aのようにディスプレイに表示する（ステップS3）。このようにして電話をかけてきた相手の過去の情報を知ることができる。

#### 【0013】

ここで、電話をかけてきた相手の詳細情報は、電話中や、電話を受けた後のメモ入力画面で入力することができる。外部電話機2を使用者がオフフックする（ステップS4）か、PCアプリケーションソフトでメモ入力画面を起動すると表示例9bのようなメモ入力画面が現れるので、ここで使用者は電話をかけてきた相手との通話の記録を入力する（ステップS5）。通話の内容を入力し、PCアプリケーションソフトの終了操作を行うと、入力した記録はその電話をかけてきた相手の発信者情報に対応してハードディスク装置10に記憶される（ステップS6）。このようにしてその後同じ発信者情報の相手から電話がかかってきたときも、前回記録した内容を画面に表示することができる。

#### 【0014】

以上のように本実施の形態1のデータベース端末装置によれば、発信者情報検出装置3とPC8のアプリケーションソフトを連動することによって、PC8の

記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示し、通話をする前に相手の詳細情報を確認することができる。

【0015】

【発明の効果】

以上の説明より明らかのように本発明によるデータベース端末装置は、電話をかけてきた相手の情報を発信者情報検出装置よりPCに通知することによって、PCの記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示できるようにしているので、通話する前に相手の詳細情報を確認でき、効果的な通話ができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の形態1の発信者情報検出装置を備えたデータベース端末装置の構成を示すブロック図

【図2】

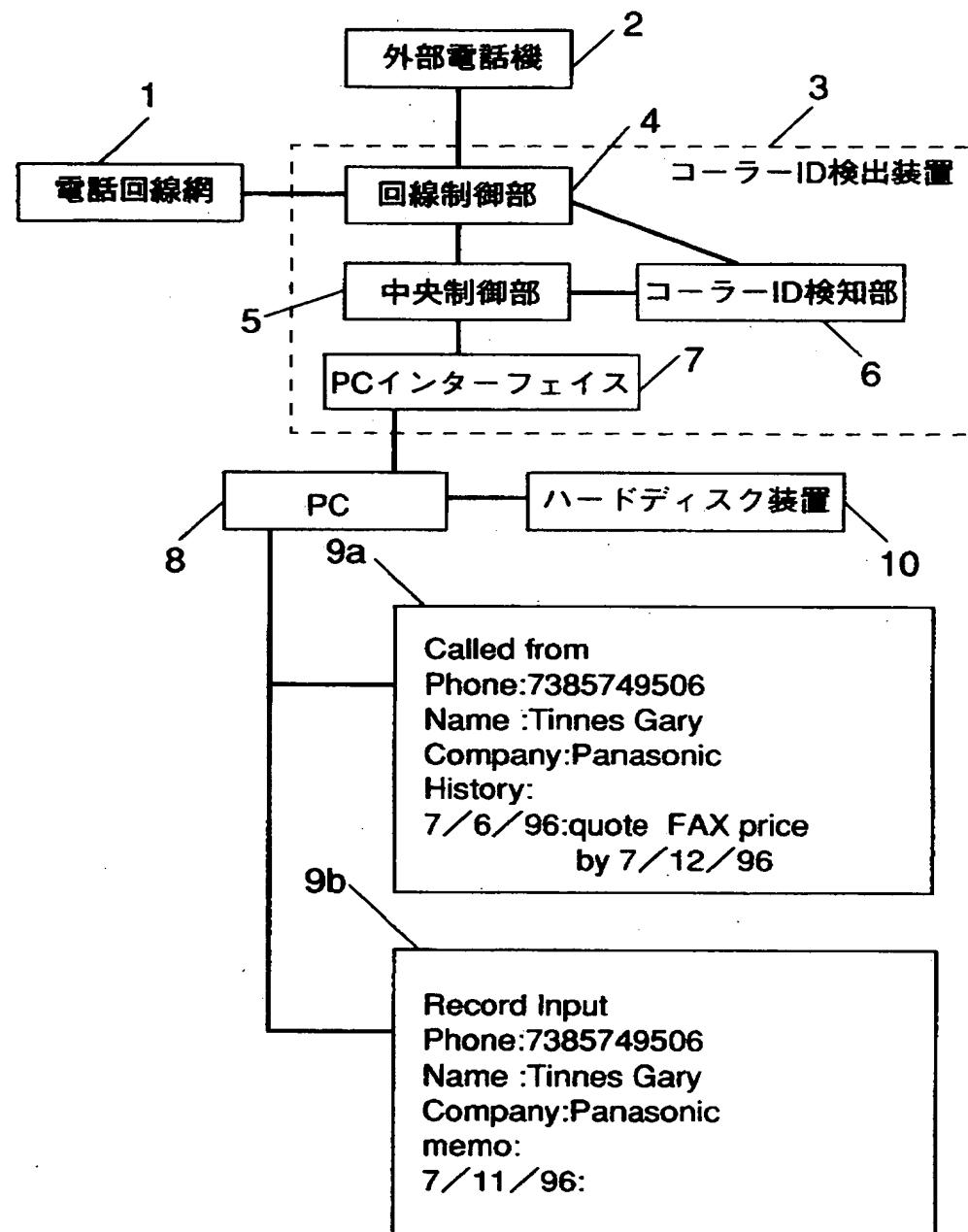
同データベース端末装置の動作を示すフローチャート

【符号の説明】

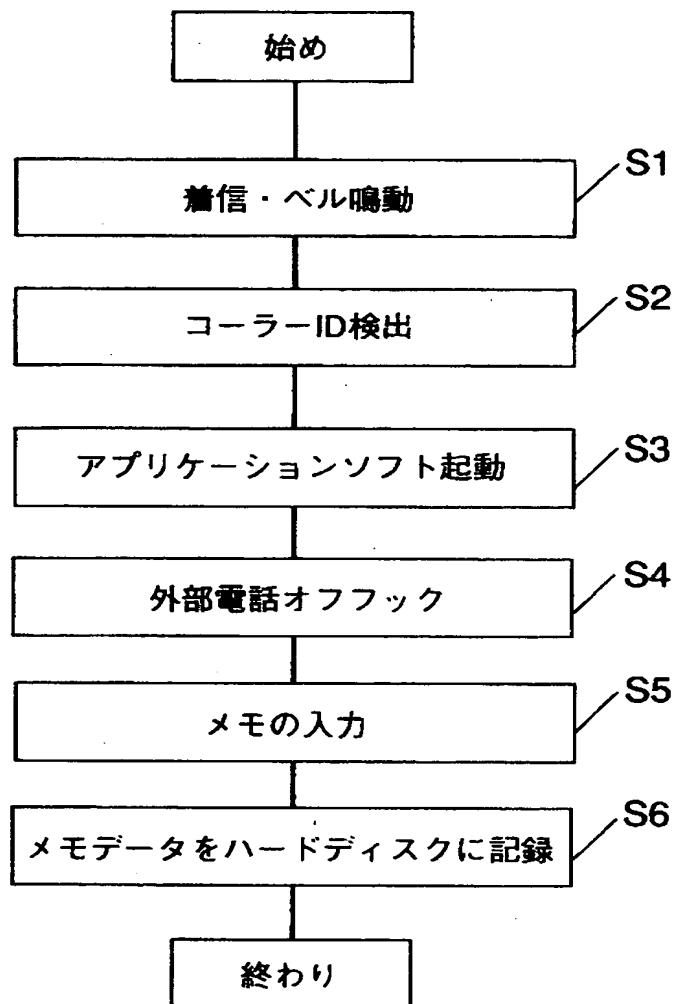
- 1 電話回線網
- 2 外部電話機
- 3 発信者情報検出装置
- 4 回線制御部
- 5 中央制御部
- 6 コーラーID検知部
- 7 PCインターフェイス
- 8 PC(パーソナルコンピュータ)
- 10 ハードディスク装置

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電話回線網から送られる発信者情報を受信して電話をかけてきた相手が誰であるのか分かるようにした回線端末装置において、その相手と過去にどのような話をしたかの情報を得ることができるようとする。

【解決手段】 コーラー ID 検知部 6 および PC インターフェイス 7 を備えたコーラー ID 検出装置 3 と、コーラー ID 検出装置 3 にシリアルインターフェイスで接続された PC 8 で構成され、電話をかけてきた相手の情報をコーラー ID 検出装置 3 より PC 8 に通知することによって、PC 8 の記憶装置に蓄積されている相手の詳細情報を画面に表示するデータベース端末装置とし、かかってきた電話相手と通話をする前に、相手の詳細な情報を確認できるようとする。

【選択図】 図 1

【書類名】 職権訂正データ  
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000005821  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1006 番地  
【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社  
【代理人】 申請人  
【識別番号】 100078204  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1006 松下電器産業株式  
会社内  
【氏名又は名称】 滝本 智之  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100097445  
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1006 番地 松下電器産業  
株式会社内  
【氏名又は名称】 岩橋 文雄

出願人履歴情報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地  
氏 名 松下電器産業株式会社